

令和7年度第1回加美町総合教育会議議事録

開催日時 令和7年5月22日（木曜日）
午前10時～

開催場所 加美町役場宮崎支所3階大会議室

出席者 加美町長 石山 敬貴
加美町教育委員会 委員 大宮 信彦 同 委員 野村 清正
同 委員 田中 舞 同 委員 今野 英俊
同 教育長 鎌田 稔
事務局 総務課長 佐々木 実 同 課長補佐 内出 泰照
教育総務課長 遠藤 伸一
学校教育環境整備推進室 学校教育環境推進員 早坂 雅彦
生涯学習課長 佐々木 功

協議事項 （1）加美町教育等の振興に関する施策の大綱について

午前10時 開会・開議

○総務課長

本日は大変ご苦勞様でございます。定刻となりましたので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4項に基づきまして、令和7年度第1回となります、加美町総合教育会議を開会いたします。

開会に当たりまして、主催者であります石山町長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

○石山町長

皆さんおはようございます。この後、座って話をさせていただきます。

今日第1回加美町総合教育会議ということで、議案の方は大綱のことについてですね。引き続きご活発に、ご意見を賜ればと思います。本日もよろしくお願いいたします。

○総務課長

はい、ありがとうございました。次に協議事項に移ってまいります。

協議事項の進行は、地方公共団体の長であります、石山町長にお願いいたします。

○石山町長

はい。じゃあ議事を進行させていただきます。

協議事項としまして、加美町教育等の進行に関する施策の改定について、それでは事務

局から説明願います。

(1) 加美町教育等の振興に関する施策の大綱について

○資料「加美町教育等の振興に関する施策の大綱」

上記資料により、教育総務課長より説明。

はい、おはようございます。本日の令和7年度第1回加美町総合教育会議、どうぞよろしくお願いいたします。それではすいません、着座にて説明させていただきます。

お手元の資料の「加美町町教育の振興に関する施策の大綱」をご覧になっていただきたいと思います。先ほど町長からもお話がありまして、前回令和7年3月14日に開催しております。その際にですね、お示しをしまして、ご意見をいろいろ頂戴したところでございます。今般ですね、皆様から頂戴した意見を取り入れて修正したものを今週配布したところでございまして、ご覧になっていただけているのかなと思いますけれども、またすみませんけれども、改めて説明させていただきたいと思います。

お開きになっていただきまして、4の目指す姿というところですけども、前回から改正しているところは、本物から本当ということ、修正しております。これはですね、大本の総合計画の方にですね、本当ということ、表現されておりますので、それに準拠した形を取っております。意味としては、質の高い教育をというような、私の、私のというか、思いを含めてですね、このような表現をさせていただいたところでございます。

続きまして、修正点としまして、5の基本方針ですけども、前回もいろいろ議論になったところで、家庭教育の充実というところで、(1)と(2)とあるんですけども、中身は同じようなもの、重複するではないかというご意見もいただきました。したがって、(1)を削って、(2)を(1)に、というような修正をしております。

なおですね、「推進します」というのを、「に努めます」ということで、改めているところでございます。このところはですね、家庭教育となると子育てというところもございまして、教育行政の中でどこまで子育てというところに絡んでいくか、というようなところもございまして、ただですね、考え方とすれば、家庭教育と地域と学校が、あるいは教育行政が、一緒になってやっていこうというような意味を込めて、このような(1)に修正したところでございます。

続きまして、青少年健全育成のところの(3)。この辺についても、重複している文言がございましたので、改めて文言の修正をかけたところでございます。

続きまして、社会教育の充実というところで、誤字があったので直したところでございます。生涯スポーツの充実、というところも、図りますを努めますというような、全体のバランスを鑑みて、このような言葉に直しているところでございます。

最後にですね、文化財の関係で前回のご指摘があった文化財意識の向上に図りますと、なんかわかんないよねというようなところがございましたので、一応わかりやすく

って言ったら失礼ですけども、このような表現に、「文化財、伝統文化を通じ、郷土愛を育みます」というような表現にさせていただいたところでございます。

以上、前回から修正した点をご説明いたしました。本日はですね、完成を見たいなと実は思っております。ただ、皆様からのご意見を頂戴いたしまして、完成したいなと思っておりますので、忌憚のないご意見を頂戴したいなと思っております。

以上でございます。よろしくお願いします。

○石山町長

はい。今、課長より説明いただきました。

課長、事務方の考え方としては、今日これをここでの会で完成にしたい？修正は、修正は可能なんですか？

○教育総務課長

修正は可能です。

○石山町長

だけど、今日の意見を最後にしたい。

○教育総務課長

はい。

○石山町長

委員の皆様のご賛同をいただけることは、委員の皆様のご判断ですから、私は誘導しません。はい。それでは、というような一報もくれまして、修文が提出されております。

それでは、ご質問、ご意見よろしくお願いいたします。はい。野村先生。

○野村委員

はい。野村です。今回も施策の大綱の作成、ありがとうございました。拝見させていただいて、全体的に満遍なく全体を網羅してあって、前回もお話したと思うんですが、全体を網羅してあって、教育という分野の性格上、とても大事なことなんじゃないかなというふうに思っておりますので、とてもいいんじゃないかなと思います。

和と美っていうね、結局調和にしていくなという町の方針もあって、本当に良くていいんじゃないかなというふうに感じました。あと2つ目として、読み手に非常に分かりやすいように文言等の修正等も加えられていたので、これも大変いいんじゃないかなというふうに感じております。

実は気になったところが2点だけあるんですが、まず1つ目が、これは私の意見です。4の目指す姿のところの次の、「本当の学びを得られるまち」という、その本当の学びってところの、これは方針なので、まあ常になんかこう真理を追究するよってところの表れだと思うんですが、課長さんの方の説明からも、より質の高いものを目指していくなというふうなイメージがあったということでしたので、それでいいのかなと。ただ、こう読んだ時に、私のようにちょっとひねくれた考えですね、本当って何なんだとか、

今までは本当じゃなかったのかっていう。まあ、ちょっと私なりにいろいろ自問自答しながら、でも今までも本当だったと思うんですよ。ただ、時代がどんどんどん変わるの、子供たちの環境も変わっていくから、やっぱり変わらないものと、変えていかなきゃいけないものってあると思うので、そういう意味でね、本当に子供たちにとってより良いものを探していくんだっていう、まあ、教育委員会としての姿勢を表した言葉なんだっていうふうに捉えれば、すごく素敵じゃないかなと思ったので。その件、その捉えを伝えておけばいいのかなというふうに思ったことが1点。

それから2点目が、これ私も勉強不足のところもあってあれなんです、基本方針の中に、まあ、丸付いて何個もあります、その中で2つ目の生涯学習の推進っていうのと、それから右側のページに行って、社会教育の充実っていうところ、この2つが私の中ですごくイメージとしてダブってるところがあって。この件、どう考えをすみ分けしたらいいんだろうかなというふうな思いでいました。言葉で捉えてみたら、生涯学習はやはり生涯を通じて学び続ける、充実した人生っていうようなことなので、時間軸を念頭に置いたもので、社会教育は、その言葉はとりあえず社会にあって、我々の身の回りの環境であるとか、空間であるとか、そういうところにスポットを当てたものとして捉えていった方がいいのかなんていうふうに、ちょっと頭の中ですね、感じて。

であれば、社会教育の方については、なんかこう、私たちの環境を表し示すような、何か具体的なものを入れておいた方がいいのかなというふうに感じました。具体的には、多分これ、公民館のことを指してるんじゃないかなというふうに思ったので、公民館機能を充実させるかなんか、公民館という言葉を一言ちょっと入れておくと、より読みやすく、より分かりやすくなるかなというふうに感じました。もし入れるのであれば、(2)のこの頭あたりに入れておけばいいのかなというふうには感じましたので、その辺ちょっとご検討いただければと思います。

なお、青少年のほうには図書館とか、生涯スポーツにはスポーツ施設、芸術文化の方には文化施設というように施設名が具体的にいたので、これは社会教育も公民館が中心になるのではないかなと感じたので、入れておくといいのかなというふうに感じました。以上です。

○石山町長

答えますか？

○教育総務課長

私、答えてよろしいですか？

○石山町長

いいですよ。

○教育総務課長

はい。ご意見ありがとうございました。ただいま、2点ご意見があって、私なりのちょっと考えもお話ししたいなと思います。

まず、1点目の本当の学びというところで、先ほど委員さんからより良いものを探すというようなお話がございました。私もそう本当に思います。今の加美町の子供たち、少子化の影響でだんだんと減ってきます。ではどうすればいいのかというようなことを考えればですね、やっぱりじゃあ少なければ少ないなりに、質の良い、やっぱり良い教育をということで、考えていかなければいけないじゃないのかなと思いますので、そういった意味での本当の、ということを使いたいなという思いもありまして、入れたところでございます。

あと、2点目の生涯学習の推進と社会教育の充実でございますけれども、イメージとしては、生涯学習につきましては、先ほどもやはり時間軸という言葉がございました。やはり生涯学習、生涯にわたってということですので、まあ表現的にどうかはわかりませんが、過去現在未来ということでの一生涯ということっていう意味で、このような、(1)(2)というようなことでの意味もあってですね、書いていたところでございますし、社会教育の充実というのは、委員さんおっしゃるとおり、こう、環境とかエリアとか、いうところで、公民館機能を充実させながら、例えば(2)あたり、人と人との交流やうんぬんという言葉を入れた方が分かりやすいのかな、と今確かに聞いてて思ったところでございます。皆さんにお諮り願えたらなと思います。すいません。以上でございます。

○石山町長

はい。私からも1個だけ意見いいですか。

今、野村先生から、本当の学び、まだ前の「本物」のお話だと思うんです。今日、課長からのお話を聞いて、課長の思いであつたりとかっていうことは、私も擁護するところなんですけれども、やっぱりただその一方で、全くゼロベースの町民の皆さんのことです。だから全然関係なしでもいいんですけど、読むといろんな取り方する可能性があるなと思います。ですから、先ほど先生がご自身のことをひねくれものって言ってる、僕は全く同じマインドで、じゃあ何だっというのってというふうになります。

であるならば、どこかにじゃあ本当の学びとはこういうものだよっていうのを定義付けしなきゃいいと思います。注釈とか、どこかで。私たちが目指す本当の学びとはこういうものですよという、一文ぐらいのあれ、定義付けしなきゃ誤解なくなると思って、ちょっとその定義付けっていうことも、どこかに書き込むっていうことちょっと考えていただければと思います。

結論じみてすみません。その方がいいと思います。誤解ないと思います。むしろそこがエッセンスになると思うので、そこを強調してすることに価値がありますから。これは本当の学びって何だよっていうような質を上げていくというようなことですね。いかがでしょうか？

○教育総務課長

はい、ありがとうございます。そうですね、そのように注釈、ちょっと最後の方に付いて、分かりやすいようにしたいと思います。ありがとうございます。

○石山町長

はい、それでは続きまして。今野委員。

○今野委員

修正を入れてもらったので、結構分かりやすい文章になったかなと思うんですけど、1つだけちょっと、今読みながら気になったのが、4の目指す姿の(3)、最後の方に文化財愛護意識と文章あるんですけど、5の基本方針の一番最後に分かりやすく修正してみましたって修正してます。こことほぼ同じ文章なんで、どっちもできれば分かりやすく修正できないのかなと、ちょっと気になりました。

○石山町長

4番の目指す姿の、あれですね、文化財愛護意識の高揚を目指しますという部分に、次の基本方針の最後の部分で変更をかけてるじゃないですか。同様に揃えたらいいんじゃないかっていうご意見かと思います。ですよね？

○教育総務課長

わかりました。

○石山町長

いいですよ、今野委員。はい。あとはありませんか？いいですか？

○今野委員

大丈夫です。はい。

○石山町長

じゃあ順々に。

○大宮委員

先ほどから話題になってます、「本当」、「本物」。こちらなんですけれども、総合計画ではどういうところで「本当」というのを使われてるんですか？

○教育総務課長

総合計画ではいろいろ部門ごとにやるんですけども、教育、学び、スポーツ、文化部門のところの、一番最初の見出し、本当の学びを得られるまちっていうところで使っているものでございます。それを準拠しています。

○大宮委員

わかりました。ただ、やはりわかりにくいですよ。先ほどの町長さんおっしゃったとおり、わかるようにね、していただければそれでいいのかなと思いますし、あるいはもっと別な表現使ってもいいのかなって。ここであえて総合計画と合わせなくても、同じような意味で使えるような言葉を使ってもいいのかなという感じはしますけれども。

それが1点と、あともう1つなんですけれども、基本方針、こちらの方で一番最初に学校教育の推進ときてるんですけども、私個人的な意見なんですけれども、家庭教育が一番最初に来るんじゃないかと思うんですよ。それがきてから、今度学校教育がきてっていう感じで、一番はやっぱり家庭の方、しつけとか教育とか、ちっちゃい頃からとかね、あつ

て、幼稚園がきて小学校という感じになったらいいのかな、なんて個人的に思っただけなんですけど、そういう感じです。

○石山町長

どうぞ。

○教育総務課長

はい。この辺の学校教育の推進、生涯学習の推進、家庭教育の充実、この並びはですね、実はこれも総合計画からのチョイスでございます。その並びに合わせたということが本音でございます。この辺ご意見もらえれば、書いてるのは同じ、総合計画とは整合性は取れてるので、ただ並びの順番が違うだけですので、ご意見をいただければと思います。

○石山町長

どうですか？

○大宮委員

申し上げたとおり、家庭があって、次に学校教育がくるとか、あと地域がくるとか、そういう感じかな、なんて私個人的に思ってるんですけども。

○石山町長

全く180度違うことを言うわけじゃないんだとしたら、何も縛られるものはないんじゃないかなと思います。

ただ、そこでちょっと質問なんですけど、さっき冒頭言ってたじゃないですか、子育てと教育、その難しさっていうのは、これ本当は永遠のテーマになっちゃうかもしれないけど、すごく難しい。

○教育総務課長

今回、この見直しにあたって、あるいは策定するにあたって、ここが一番の、まあ本当に文科か、こども家庭庁かって、そのところもあるんですけども、非常にここ難しいところで、どこまで踏み込んだらいいのかなというところで、本当悩んだところで、このような表現をさせていただいたところなんですけども。

ただ、まるっきし関与しないよっていうわけでもないのかなと思うんですよ。やっぱり保護者の教育っていうのもすごく大事なので、そういう意味も含めて、ここに家庭っていうところも入れたところなんですけども。思いとすればそういうところがございますね。

○石山町長

あの、できるかできないかって、すごいデリケートゾーンであることは、これ皆さん、共通認識だと思うんですよ。でも、本来であれば、そこを大切に考えていかなきゃいけないっていうようなこと、それもまた事実かなと思いますね。だから、少なくとも、ね、今後切り込んでいくっていうぐらいの意気込みを示すためにも、やっぱりじゃあ、一番上に。一つの大きな目標だよっていう意味も含めて、一番上に置いておくっていうことは意味があるんじゃないかな。

○教育総務課長

はい、私は了解しました。教育長なにかあれば。

○鎌田教育長

教育長です。えっと、まあこれ、教育大綱の、我々、何のための教育大綱かっていうと、町、あるいは教育行政としてこういうふうに取り組んでますよっていうふうな仕立てなので、やっぱり学校教育がやっぱり。そして、家庭の支援っていうか、家庭、親の教育も当然大事なんですけど。やっぱり学校、学校が一番上なのかなと、私の印象では。

あともう1点、あの、目指す姿の「本当の学びを得るまち」って、なんかタイトルボンって、なくてもいいのかなってずっと思っていました。ただ、あの、総合計画で出てるので、あえて入れるわけだなと。これを入れることによって、混乱を招くようだったらなくてもいいのかなって。で、やっぱりこう、本当の、まあ、一生学び続けるって、やはりよりよく生きるっていうための学びが、本当の学びだと思うんですけども、まあそれはみんな理解している部分であるので、入れなくても、(1)、(2)、(3)が加美町の目指す姿っていう捉えでいいのかなって印象でありました。

で、(1)が10年間の、幼稚園から、まあ中学校、あとまあ高校で学びということ。あと、(2)が、まあ一生学び続けるというような生涯学習に。(3)がちょっと弱さを感じます。それならば、あの、やっぱりこう、加美町愛とかですね、加美町に誇りや愛着を持って、やっぱ加美町の未来を拓くとか、つくる人材育成ぐらいをボンと大きく入れてもいいのかなって。ただ愛着を持つだけじゃない、やっぱ加美町をより良くする、活性化するための、まあ、教育を、こうしていくみたいなのもありだなと、今皆さんの意見を聞きながらちょっと感じました。

やっぱり、目標としては加美町をより良くする、そのための学びってというのが大事なかなというふうに思っていました。それ強なくていいのかなって。

○教育総務課長

はい。じゃあ、ちょっとこの辺で、1回内部で揉めますんで。で、もう一度皆さんの方に、メールか文書でご連絡します。またご意見を賜れば。

それをお願いします。

○石山町長

じゃあ田中委員、ご意見をお願いします。

○田中委員

はい、いろいろ修正点があって。お疲れ様です。私も皆さんの意見聞いて、そのように思っていたんですけども、1つ教育長さんのお話があった家庭教育の充実を一番上に持っていくのはどうなのかなっていうので、そこは私も気になってどうしたらいいかなと思って聞いていたところがあったので、検討したいなというふうに思います。以上です。

○石山町長

はい。じゃあ、あの委員としては、家庭教育を上には難しい？

○田中委員

一番上ではないかなという。

学校が一番。ただ思いはわかるんです。なので2番目なのか、でも生涯学習なのか、どっちなのかなっていうところ。はい。

○石山町長

これはじゃあ、最終的には趣旨と合わせて内部調整してください。

○教育総務課長

はい。

○石山町長

どうでしょうか。その他、鎌田先生、何か総括的に。

○鎌田教育長

いや、あの、今貴重なご意見いただいたので、できそうだなと。

○大宮委員

はい。これって、いつまで決めなきゃいけないとかあるのかな。

○教育総務課長

これはですね、あの、よければ、1学期中には決めたいと考えています。

○石山町長

わかりました。じゃあよろしいでしょうか。修文が出てくれるかと思いますので、よろしくをお願いします。

○教育総務課長

はい。

○石山町長

じゃあ、以上で協議事項は終わりとなりますので、進行を事務局に戻します。以上です。

<協議事項終了>

○総務課長

はい、進行ありがとうございました。委員各位から様々ご意見出たものにつきましては、教育総務課の方で調整の上、またメール等情報提供するというようなことでございましたので、また引き続きよろしくお願いしたいと思います。

次に協議事項終わりました、その他ということで。その他について、委員の皆様から何か情報提供等あれば、お申し出ください。

なければ、事務局何かございますでしょうか？

○教育総務課長

はい。じゃあ教育総務課から、私の方から2点ご報告させていただきたいと思います。

1つはですね、令和8年度開校に向けた小野田小学校の今、小野田小学校開校に向けた

進捗状況について説明させていただきます。2点目は、おのだ園開園しました、その状況について説明させていただきます。

小野田小学校とおのだ園につきましては、早坂先生からご報告させていただきます。

○学校教育環境推進員

おはようございます。よろしくお願いします。

私の方から小野田小学校開校に向けて、2点ご報告をいたします。

1点目は校章の公募です。4月1日から30日まで校章の方の公募を行いました。どれくらい応募があるのか、ドキドキしながら待っていたのですが、締め切りまで35点が集まりました。ここに挙げているのはその中の5点です。内訳としましては、加美町内から8点、県内から4点、県外から23点という状況です。町内の小学生、中学生、高校生からも応募がございました。今後は、第一次審査で10点程度に絞りまして、本審査で1点に絞っていきたいと考えております。

2点目は校歌作成業務の契約についてです。現在、竹森マサユキ様と契約に向けて進行中というところですので。お願いしたいなと思っております。

続きまして、おのだ園、4月に開園いたしました。その後の様子、写真でお伝えしたいと思います。これはおのだ園の5歳児、そしてみやざき園の5歳児、下野目保存会の皆さんと5月15日に田植えをした様子です。今、園の方では、遊びいっぱい、笑顔いっぱい、夢いっぱいという園を目指して、子供たちと先生方がみんなで取り組んでいるところです。元気いっぱいに過ごしているというのが、伝わっていればいいなと思っています。あと、これからもですね、できるだけ園での子供たちの元気な様子とか、先生方の頑張りをですね、見に行って、またご報告をさせていただければなというふうに思っております。

私からは以上です。

○教育総務課長

以上、2点報告させていただきました。いろいろご質問、ご意見あれば賜りたいと思います。よろしくお願いします。

○総務課長

はい、ただいま教育総務課長の方から、2点ほど説明、報告等ございました。これについて、何かご質問等あればお願いしたいと思います。

○大宮委員

よろしいですか？

○総務課長

はい。じゃあ大宮委員さんお願いします。

○大宮委員

校章なんですが、結構すごい、上手い校章ですね。これプロの方描いたんですか？イラストレーターとか。

○学校教育環境推進員

これ、ここに載せてあるものにつきましては、本当にこう、イラストをやられていた、やられている方が多いかと思います。はい。いろいろなところで、こういう募集を見て、自分のデザインを出していくという形で、そういう方が多分おそらく県内の方が、県内からの方が多かったのかなと感じております。

○大宮委員

一般の方は？

○学校教育環境推進員

一般の方もおります。

○大宮委員

手書きは？

○学校教育環境推進員

手書きもございます。小中学生も手書きでした。はい。なかなか味があっていいなと思いました。

○総務課長

そうですね。水芭蕉であったり、山と川をあつらってみたり、私も見てて素晴らしいデザインだなとは思っておりました。

その他何かございますでしょうか。

○石山町長

早坂先生、あの私から。これデザイン素敵なんですけど、みんなね、すごい気になるけど、これ町の人たちだけじゃないでしょ？町の人以外のちょっとプロっぽい人たちのやつが今日。

○学校教育環境推進員

入っています。町の人やつも入ってます。

○石山町長

そうですか。わかりました。もう終わったんでしたっけ？

○学校教育環境推進員

はい。4月中で締め切りました。

○総務課長

はい。教育委員会からの説明、その他、何かご質問等ございますでしょうか？

はい。なければ、以上をもちまして、第1回加美町総合教育会議の方を終了させていただきます。皆様、大変お疲れ様でございました。